

二面・三面
淡路空港は
作らせぬ
―現地の実体と運
動の展望―
地元の声
を聞け
反対同盟の陳情書
四回
日米共同声明
と沖縄反戦復
帰
沖縄原水禁
事務局長
東 清良

新左翼

1970年

1月5日

第48号

月3回5、15、25日発行

1部30円

1ヵ月100円 半年500円

1ヵ年1000円 訂共

発行所

新左翼社

大阪市大淀区本庄川崎町

2-10 トミヤビル

電話(371)5304

振替口座 大阪 88555

昭和43年12月12日

才三種郵便物認可

70年代を闘い抜くぞ!



いよいよ一九七〇年代に突入しました。

一九六〇年代はすべての既成の権威が問われた時代でありました。既成左翼の権威がうたがわれ腐敗・墮落した既成左翼にかわって、自ら革命運動をになわなければならない責任を自覚した人たちがによって、新左翼の諸勢力が六〇年代に形成されました。

新左翼諸勢力は六〇年代に日本の大衆運動のなかで一定の勢力をもつことに成功しましたが、しかしまだ労働者階級をはじめ人民のなかのごく少数の部分を獲得しえなすぎません。しかし彼らが発した帝国主義支配に対する根底的な問いかけは、きわめて深刻な影響を及ぼしました。

先進的なイデオロギーがなければ先進的な大衆運動はありません。七〇年代はこの帝国主義に對する鋭い問いかけが、大衆の心をとらえ物質的な力となり、既成の権威が崩壊する時代となるであります。

新左翼諸勢力のイデオロギーがまだ労働者・学生のごく少数の部分しかとらえられていないのは、それがまだ労働者階級の根本的利益を全面的に表現していないからであり、同時に帝国主義支配体制が現在もっている一定の強さの爲でもあります。これは決して個人の決意に還元できる問題ではありません。

新左翼諸勢力がいくたの党派に分裂していることは、彼らのイデオロギーのなかにプチブル的な要素が混在していることの表れにすぎません。真理―労働者階級の根本的利益―は唯一つです。それぞれがこの立場にたつて努力をかさねるかぎり必ず新左翼諸勢力の統一が可能となることを確信しています。

七〇年代には必ず新左翼諸勢力は統一をかちとり、労働者階級をはじめとする人民の大多数を味方にひきつけ、彼らのイデオロギーを物質的な力に転化させ、支配体制を根底からゆさぶり、崩壊させる力量をもつにいたるであります。

七〇年代の幕あけに際し、あらたな決意をもって、闘う労働者、農民、学生、市民、諸団体の同志に連帯のあいさつを送ります。

一九七〇年一月一日

新左翼社

現地の實情と運動の展望

農業だけでなくえぬ
まだ切實感のない地元

無視できぬ世代のギャップ

米だけに頼る北部

ミカンをだしに道路作る

続出する耕作放棄

矛盾かかえる促進同盟

(三) へいへい国

かも知れません。 関西新国際空港

るいは沖組即時無条件返帰というスローガン
ありました。しかし現在七二年に復帰させる
だといふ交渉がなされておりながらも沖組の
状況、あるいはアメリカ国内の状況からして即
無条件返帰といふことは、とつていむづか
い。あくまでも戦争をなくし基地をなくした
帰てなければならぬといふのが、われわれ
今後の運動の目標にならなければならぬとい
ふことです。